

東日本高速道路株式会社 北海道支社

支 社 長 堀 圭一

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	<p>【数量明細表 構造物掘削 普通部 1 本線（下り線）（本線鵡川第四橋～東占冠T 起点側坑門】</p> <p>普通部 10,117.4m³ の数量についてですが、その内の土砂と軟岩のそれぞれの数量を教えて下さい。</p> <p>高盛土区間の設計図では数量が拾えません。</p>	土砂：8,830.5m ³ 、軟岩：1,286.9m ³ となります。
2	<p>【数量明細表 構造物掘削 普通部 B 1 本線（下り線）（本線鵡川第四橋～東占冠T 起点側坑門】</p> <p>普通部 B 765m³ についてですが、特記仕様書では終点側坑門工構造物基礎及び軽量盛土部の土砂及び軟岩の掘削とあります。</p> <p>この数量は、どこの掘削数量でしょうか。</p>	構造物掘削 普通部 B の掘削箇所は東占冠 TN 終点側坑門～滝の沢川橋 A1 区間の軽量盛土、明かり部・坑門工（終点側）が対象となります。
3	<p>【数量明細表 構造物掘削 普通部 C 1 本線（下り線）（本線鵡川第四橋～東占冠T 起点側坑門】</p> <p>普通部 C 2429m³ についてですが、特記仕様書では終点側坑門工構造物基礎及び軽量盛土部の土砂及び軟岩の掘削とあります。</p> <p>この数量は、どこの掘削数量でしょうか。</p>	構造物掘削 普通部 C の掘削箇所は東占冠 TN 終点側坑門～滝の沢川橋 A1 区間の軽量盛土、明かり部・坑門工（終点側）が対象となります。

番号	質問事項	回 答
4	<p>【数量明細表 構造物掘削 普通部 4 軽量盛土工（滝の沢 A1 橋台部）】</p> <p>普通部 640.4m³ の数量ですが、全て軟岩でよろしいでしょうか。</p>	ご認識のとおりです。
5	<p>【数量明細表 構造物掘削 普通部 6 3 号補強盛土】</p> <p>普通部 13,118.9m³ の数量についてですが、その内の土砂と軟岩のそれぞれの数量を教えて下さい。</p> <p>設計図では数量が拾えません。</p>	土砂 : 13,118.9m ³ となります。
6	<p>【数量明細表 構造物掘削 普通部 18 工事用道路 滝の沢】</p> <p>工事用道路の掘削数量 312.3m³ に対して、設計図より盛土量を算出すると、17,840.7m³ となり、盛土量が約 17,600m³ 不足します。</p> <p>滝の沢工事用道路は、最初に着手する工事と認識していますが、盛土材は購入材でよろしいでしょうか。</p>	購入材となります。 なお、滝の沢工事用道路の盛土数量は率計上項目の盛土工 A 5 となります。
7	<p>【数量明細表 構造物掘削 普通部 19 滝の沢付替道路】</p> <p>普通部 1592m³ とありますが、図面には、道路掘削の数量しかありません。何の数量を示すのでしょうか。</p>	<p>構造物掘削 普通部 滝の沢付替道路の数量は、下記のとおりとなります。</p> <p>【数量明細表（契約単価）の軽量盛土工】</p> <p>構造物掘削 普通部 B : 621.8m³、普通部 C : 18.6m³</p> <p>【数量明細表（率計上）の橋梁下部工 滝の沢川橋A 1 橋台】</p> <p>構造物掘削 普通部 A : 951.6m³</p>

番号	質問事項	回 答
8	<p>【参考図 4/40】工事工程表（参考図）の平均月進において DII-a-S1(H)-B は 48m/月、DIIIa-S(H)-B-F は 30m/月、DIIIa-S1(H)-B は 44m/月と記載されています。</p> <p>【トンネル設計図 20、26、28/171】に記載されている鏡吹付コンクリート（上半部）の数量を用いてサイクルタイムを算出すると DII-a-S1(H)-B は 49m/月、DIIIa-S(H)-B-F は 31m/月、DIIIa-S1(H)-B は 45m/月となります。</p> <p>参考図に記載されている平均月進は全断面の鏡吹付コンクリート数量を用いてサイクルタイムを算出されていると思われます。</p> <p>サイクルタイム算出にあたり鏡吹付コンクリート数量は上半部と全断面のどちらを用いたのかご教示願います。</p>	<p>掘削サイクルタイムはトンネル上半部、下半部及びインバート部の掘削断面積を用いて月当たりの進行（m/月）を算出しております。</p>
9	<p>【質問と回答④】番号 15】</p> <p>【質問と回答④】番号 15 の「DIIIa(H)-SB-F1 の平均月進 39m/月は、坑口部を除いたもの」の回答について、DIIIa(H)-SB-F1 のトンネル掘削等の積算においても、サイクルタイムは平均月進 39m/月を想定しているという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
10	<p>【割掛 雜工事費 設計図 参考図 22/40】</p> <p>避難連絡坑補強費の内訳にある既設覆工撤去時に使用するワイヤーソー工法において、機械の設置足場が必要になります。</p> <p>この費用も同項目に含まれると考えてよいですか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
11	<p>【金抜設計書 番号 117】</p> <p>CII-L(H)-SB の吹付コンクリートの配合は、地質平面縦断図の前後の地質から CII-b パターンと考えてよいですか。</p>	<p>CII-L(H)-SB は CII-a パターンを想定しています。</p>

番号	質問事項	回答
1 2	<p>【設計図 トンネル92/171】</p> <p>避難連絡坑のI期線接続部に補強ロックbolt(4本×2断面×3箇所=24本)を打設する設計になっています(トンネル設計図92/171)。</p> <p>この費用は単価表のどの項目に含まれますか。</p> <p>割掛 避難連絡坑補強費の内訳に記載がなく、単価表番号 136 ロックbolt工A(L=2.0m)の数量にも含まれていないと思われます。</p>	補強ロックboltは、単価表番号 136 ロックbolt工A(L=2.0m)の数量となります。
1 3	<p>【特記仕様書 P.62】</p> <p>汚濁水処理設備で発生する泥土は本線盛土に使用すると考えてよいですか。</p> <p>特記 28-15-5(3)泥土処理工において詳しい記載がありません。</p>	ご認識のとおりです。
1 4	<p>【特記仕様書 P.63】</p> <p>避難連絡坑防護工で使用する部材類は、新品材の使用を想定されていますか。</p> <p>また、撤去材はスクラップにすることを想定されていますか。</p>	中古品を想定しています。 また、撤去材はスクラップ処理を想定しています。
1 5	<p>【割掛 雑工事費】</p> <p>箱抜工費の内訳にある支保工撤去材は、スクラップにすることを想定されていますか。</p>	ご認識のとおりです。
1 6	<p>【設計図 溝渠工 1、4、7/25】</p> <p>設計図のパイプカルバート数量表の摘要欄に「非凍上性材料」の記載がある 「凍上抑制層」「被覆土」、「裏込め材」は、すべて購入材を想定されていますか。</p> <p>特記 28-2-2(1)表の「盛土工 A4」欄、溝渠部凍上抑制層には購入材を敷き均す記載があります。</p>	ご認識のとおりです。

番号	質問事項	回答
1 7	<p>【設計図 溝渠工 1/25】</p> <p>STA. 831+45. 9 のパイプカルバートには、単価表番号 58 の 1R-Φ1.50・t=2.7(C) と番号 60 の 1R-Φ1.50・t=3.2(C) が含まれます。</p> <p>この場合、吐き口他の費用は、番号 58 と番号 60 のどちらに含めれば良いですか。</p>	単価表番号 60 1R-Φ1.50・t=3.2(C) に含まれます。
1 8	<p>【設計図 溝渠工 4/25】</p> <p>STA. 833+39. 4 のパイプカルバートには、単価表番号 57 の 1R-Φ1.50・t=2.7(A) と番号 59 の 1R-Φ1.50・t=3.2(A) が含まれます。</p> <p>この場合、吐き口他の費用は、番号 58 と番号 60 のどちらに含めれば良いですか。</p>	単価表番号 57 1R-Φ1.50・t=2.7(A) に既設吐口ます改良工、 単価表番号 59 1R-Φ1.50・t=3.2(A) に吐口の費用が含まれます。
1 9	<p>【設計図 溝渠工 9/25】</p> <p>STA. 836+38. 5 延伸パイプカルバート一般図(3)にある重力式擁壁の費用は、 単価表番号 61 コルゲートパイプ 2R-Φ1.50・t=3.2(C) に含むと考えてよいですか。</p>	ご認識のとおりです。
2 0	本工事は、R5 年度版積算基準において、積算されていますか。	R5 年度版の積算基準を採用しております。
2 1	サイクルタイムについて、R4 年度版積算基準と R5 年度版積算基準では、R5 年度版では、R4 年度版より吹付時間・支保工建込時間がそれぞれ -10 分 (合計 -20 分) となっていますが、どちらの基準で積算されているのでしょうか。	R5 年度版の積算基準を採用しております。
2 2	道東自動車道 東占冠トンネル工事詳細設計では、R4 年度版積算基準を準拠し計画されていますが、本工事の積算もこれに準拠する形で行われているのでしょうか。	R5 年度版の積算基準を採用しております。
2 3	上記に関連して、R5 年度版積算基準を準拠して積算されている場合は、R5 年度版で設計されている詳細設計を開示願います。	R5 年度版での詳細設計は実施しておりません。